

一般質問

8人の議員が登壇しました

議席4番

櫻井 実 議員



防災・減災対策について

Q 障がいのある方などが災害時や日常生活で困ったときに、周囲の人に自己の障がいへの理解や支援を求めるヘルプカードを作成してはどうか。

A 県内で実施している市町村はない。本県は、障がいのある方や難病患者の方が地域社会の中で援助や配慮が受けられるよう障害児・者サポート手帳で代用している。当町としても県と同様に進めているが、障がい者に優しいまちづくりを推進していきたいと考えています。

(福祉部長)



学校給食について

Q 小・中学校の給食費について、全額無償にすべきと思うが、どのように考えているか。

A 当町は、子育て世代が抱える経済的負担を軽減し、少子化・子育て対策を推進するため昨年9月から子育て応援給食費補助制度をはじめたばかりなので、今後は、アンケートや調査などを実施し検討したいと考えています。

(教育次長)

議席12番

内海 和子 議員



防災について

Q タイムラインの作成は当町で

も地域や児童、生徒向けに実施すべきだと思うがどうお考えか。

A タイムラインとはいっ、どこで、誰が、何をするかを時系列で表したもので、広域避難計画も完成しているの、周知徹底し、小中学校や各地域防災組織で、訓練をしていく。

(総務部長)

Q 防災士の補助については予算が措置されているが、町として推進する防災士組織を作る必要もあると思うが、どうお考えか。

A 防災士は地域の防災リーダーとしての役割を果たすもので、資格取得の補助金も計上した。今後資格者がある程度の人数になったら組織も検討していく。

(総務部長)

福祉問題について

Q 健幸マイレージ制度について、新年度から導入されると聞いていますが、どのような内容か。

A 健幸マイレージ制度とは高齢化に伴う医療費、介護費の抑制対策で、運動や健康診断、研修などに参加するとポイントがたまるといったもの。(株)DHCと提携して行う。18歳以上を対象に行う。